

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

コスモス

コスモスの道を歩いた
美しさに誘われて
もっと先には
もっと美しいコスモスの花が
咲いているような気がして

先へ先へ歩いて
ふと後ろをふり返ると
そこには初めて見るような
美しい花の道

今歩いてきた道なのに



ぶちぱぴ

私たちは今、小学校6年間だけではなく、0歳から中学校を卒業する15歳までの子どもたちへの教育（子育て）に地域ぐるみで関わる方途を探っています。

その一環として、昨日、PTA役員さんと一緒に学校の近くにある森の木幼稚園を訪問させていただきました。森の木幼稚園では、入園前のお子さんと親御さんが自由に参加できる「ぶちぱぴ」という体験の場が開かれています。そこにお邪魔させていただきました。

いやああ・・楽しかったです。先生の軽快なリズムに乗せられて、ここに参加しているみなさんみんなにこにこ顔で、我が子をぐっと抱きしめて・・・。

ずっと昔の我が家の子育てを思い出してしまいました。

親ばかで結構

先日参加した研修会で、文部科学省から来られた先生が言いました。

「この子が世界で一番かわいらしいと思っているのは親だけです。この子は将来大臣になるのではないかと思っているのも親だけ。親ばかで結構。親ばかが子どもを伸ばすんです。その内、親も子どもも自分の実力が分かるのですから心配いりません。」

親ばかと言われるほどに、無条件に愛した時間が我が子の生きるエネルギーとなつていくのだと思います。

ピグマリオン効果

ギリシャ神話に出てくるキプロスの王ピグマリオンは、石像の女神に恋をしました。

「ああ、あなたが人間であったなら」王ピグマリオンは、毎日毎日思い続けました。するとどうでしょう。石像の女神は、本当の人間の姿に生まれ変わったのです。

この神話をもじって、期待することによって学習効果が上がることを「ピグマリオン効果」と言うようになりました。

我が子の将来に希望を持って育てるど、その子は才能を大きく伸ばすことができます。逆に、期待されずに育つた子どもは、自分の才能を伸ばしきれずに育ちます。

これも、ピグマリオン効果です。親の子どもへの態度が子どもの成長に影響を与えるというのは、いろいろなところから報告がなされています。

子育て川柳

「天才か！？」

一度はハマル勘違い」

「寝ちゃったの？」

息を切らせて父帰宅」

「泣き顔も

笑顔もみんな愛おしい」

誰もが心当たりのあるこの川柳。

子どもを愛して、愛して・・・

25年度後期のスタート！

